

# 桜川でサケの卵を調べました

～第8回千波湖環境学習会～

11月27日に第8回千波湖環境学習会を開催しました。今回のテーマは、毎年恒例となっている「桜川でサケの卵を調べよう」でした。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の心配はありましたが、無事に開催することができました。当日は天気にも恵まれ青空が広がり、少し風は冷たかったですが、気持ちの良い日差しを受けながら学習会を行うことができました。また、今回の学習会は普段学習会を行っている千波湖の親水デッキではなく、水戸市役所への集合となり、約120名の方の参加がありました。

学習会のはじめは、毎年恒例となっているクイズを行いました。今回のクイズは、学習会のテーマにもなっているサケについてでした。サケに関わる簡単な問題からサケの生態についての難しい問題まで様々な問題を出題し、子供達に答えてもらいました。子どもたちは元気良く、一所懸命に答えてくれました。クイズの景品は、人気キャラクターのミニポーチを配り、大変好評でした。



真剣にクイズに取り組む参加者



子どものモクズガニが取れました

クイズ終了後、桜川に遡上してくるサケはどこから来ているのか、過去にどれくらいの数のサケが遡上してきたのかなど、講師の方にわかりやすく説明をしてもらい、参加者はとても興味深く聞き入っていました。そして桜川におけるサケの説明が終わり、市役所から桜川的美都里橋まで歩いて移動していきました。

桜川の中に入る前に、講師から桜川に入る際の注意事項や採卵の方法について参加者に説明をしました。しかし残念ながら、本年度も学習会までにサケの遡上を確認出来なかったため、予定を変更しての水生生物の観察会を行いました。

川の水は、冬の時期ということもあり、とても冷えていましたが、子どもたちは川の中に入って、元気に水生生物の採取を行っていました。今回は、ハゼの仲間であるヨシノボリとヌマチチブやモツゴ、モクズガニ、スジエビ、テナガエビ等が採取でき、最後に、採取できた水生生物についての説明会を行いました。

最後になりますが、クイズの景品や飲み物、お菓子を提供して頂きました、株式会社ジーエスケー茨城様、いばらく乳業株式会社様、東部燃焼株式会社様、学習会の運営にご協力頂きました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



解説に聞き入る参加者